

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	1005	(H.25)No.	1005
-----------	------	-----------	------

事務事業名	市史編さん事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
総務部	総務室	宮崎 正秀	

会計区分	事業コード	023001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	総務費	市史編さん事業
項	総務管理費	(小事業名)
目	市史編さん費	市史編さん事業

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施 策	2	文化資源
	小 施 策	4	市史の編さん
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市内に関する貴重な史料・文化遺産の散逸を防ぎ、整理・保存により後世の人々に伝える意義がある。市民が「温故知新」の精神による郷土に対する愛着を育み、新たな文化創造のまちづくりを目指します。
事業内容
「名張市史」の編さん・刊行及び歴史資料の収集・整理・保存を行います。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史資料調査・整理</li> <li>市史だより11号発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「市史資料編中世」編集準備</li> <li>歴史資料調査・整理</li> <li>市史だより第12・13号の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「市史資料編中世」編集</li> <li>歴史資料調査・整理</li> <li>市史だより第14・15号の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「市史資料編中世」刊行</li> <li>「市史資料編民俗」編集</li> <li>歴史資料調査・整理</li> <li>市史だより第16・17号の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「市史資料編民俗」刊行</li> <li>「市史資料編自然」編集</li> <li>歴史資料調査・整理</li> <li>市史だより第16・17号の発行</li> </ul>
	報償費 431千円 旅費 0円 需用費 25千円 委託料 0円 <del>施設管理費 2,846千円</del> ※H26.7.28誤記訂正	報償費 1,269千円 旅費 16千円 需用費 77千円 委託料 157千円 施設管理費 3,392千円			

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	456 3,302千円	4,911千円	6,000千円	9,000千円	9,000千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他(諸収入)	85	70	100	250	250
一般財源	(0) 371 3,217	4,841	5,900	8,750	8,750
人工数					
職員	1.00人	1.00人	2.00人	2.00人	2.00人
臨時職員等	0.96人	0.96人	0.96人	0.96人	0.96人
②概算人件費	(0千円) 9,232千円	9,232千円	16,832千円	16,832千円	16,832千円
①+②総事業費	(0千円) 12,534千円	14,143千円	22,832千円	25,832千円	25,832千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
出前トークが22件と本事業への市民の関心、周知が高められました。耐震化構造の事務所への移転により市民共有の貴重な文化遺産を災害から守ることができたが、移転準備等の要因により、資料の収集整理の進捗が鈍化しました。	鈍化している市史の刊行状況を財政状況も加味しながら検討していきます。事務所移転に伴い収蔵スペースが増加したことにより資料収集の強化、市民ニーズに即応できるアーカイブズ機能の強化に取り組んでいきます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	各地域活動において、地元の文化や歴史的遺産の再評価がされる中で、市史や収集資料が活用されています。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	史料の所在調査、伝統文化行事等の記録保存などで地域との連携を図っていきます。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
次巻以降の刊行に向けて、業務の性質上、専門性の知識を有する職員を含めた事務局体制の強化、共通性のある部局との連携、組織機構の見直しを検討していきます。	